

食品安全委員会の9月の運営について（報告）

1. 食品安全委員会の開催

第109回 9月1日（木）

- ・食品健康影響評価の要請（農薬3品目 「スピロメシフェン」 「1-メチルシクロプロペン」及び 「ボスカリド」）に関する厚生労働省からの説明
- ・食品健康影響評価の要請（肥料2品目 「『けい酸加里肥料』の公定規格の変更」及び 「『熔成けい酸加里肥料』の公定規格の変更」）に関する農林水産省からの説明
- ・食品健康影響評価（「 - アミラーゼ LE399」に関する審議結果について、国民からの意見・情報の募集に着手することを決定）
- ・食品安全委員会の8月の運営について（報告）
- ・平成17年度食品健康影響評価技術研究の研究課題の候補について（決定）

第110回 9月8日（木）

- ・食品健康影響評価（「マイコプラズマ・シノビエ凍結生ワクチン（MS生ワクチン（NB I）」）に関する審議結果について、国民からの意見・情報の募集に着手することを決定）
- ・「食の安全ダイヤル」に寄せられた質問等について報告（8月分）

第111回 9月15日（木）

- ・食品健康影響評価の要請（動物用医薬品13品目 「マラカイトグリーン及びロイコマラカイトグリーン」 「エンロフロキサシン」 「オフロキサシン」 「アンピシリンナトリウム」 「チアンフェニコール」 「フルニキシメグルミン」 「ドラメクチン」 「フロルフエニコール」 「セフチオフル」 「プラジクアンテル」 「ホスホマイシンナトリウム」 「スルファメトキサゾール・トリメトプリム」及び 「セファピリンベンザチン・セファピリンナトリウム」）に関する厚生労働省からの説明。 ~ に関して動物用医薬品専門調査会において審議することを決定

第112回 9月22日（木）

- ・食品健康影響評価の要請（「高濃度にジアシルグリセロールを含む食品の安全性について」及び 「マラカイトグリーン及びロイコマラカイトグリーンについて（追加説明）」）に関する厚生労働省からの説明。
- ・食品健康影響評価（「添加物「ブタノール」について、意見募集の結果を踏まえて検討。同日付で食品健康影響評価の結果を厚生労働大臣に通知）

- ・食品健康影響評価（農薬「ピラクロストロピン」について、意見募集の結果を踏まえて検討。同日付で食品健康影響評価の結果を厚生労働大臣に通知）
- ・食品健康影響評価（遺伝子組換え食品2品目 「ワタ281系統とワタ3006系統を掛け合わせた品種」及び 「ラウンドアップ・レディー・アルファルファ」101系統及びラウンドアップ・レディー・アルファルファ」163系統」について検討。 に関しては、同日付で食品健康影響評価の結果を厚生労働大臣に通知。 に関しては、同日付で食品健康影響評価の結果を農林水産大臣に通知。）
- ・動物用医薬品専門調査会における審議状況について報告（動物用医薬品3品目 「オフロキサシンを有効成分とする鶏の飲水添加剤（オキサリジン液）」、「豚流行性下痢生ワクチン（日生研PED生ワクチン）」及び 「塩化リゾチームを有効成分とするまだいの飼料添加剤（水産用ポトチーム）」について、国民からの意見・情報の募集に着手することを決定）

第113回 9月29日（木）

- ・肥料・飼料等専門調査会における審議状況について報告（普通肥料 「けい酸加里肥料及び熔成けい酸加里肥料」について、国民からの意見・情報の募集に着手することを決定）
- ・食品安全モニターからの報告（8月分）について

2 専門調査会の運営

（1）企画専門調査会

第11回 9月1日（木）

- ・委員会自らの判断により食品健康影響評価を行うべき対象の点検・検討

（2）リスクコミュニケーション専門調査会

第18回 9月13日（火）

- ・効果的なリスクコミュニケーションの推進を図るための手法について、犬伏由利子専門委員及び神田敏子専門委員による講演（講演1「コミュニケーションのとり方 - さまざまな事例から - 」、講演2「リスクコミュニケーションと消費者団体の役割」）
- ・三府省におけるリスクコミュニケーションに関する取組について報告

第19回 9月27日（火）

- ・効果的なリスクコミュニケーションの推進を図るための手法について、新蔵敏彦専門委員及び門傳英慈氏による講演（講演1「生産者（漁業者）から見たリスクコミュニケーションと食育の進め方」、講演2「食品・農業・教育の立場で食育を考える」）

(3) 緊急時対応専門調査会

第13回 9月5日(月)

- ・食中毒事例のケーススタディについて、熊本市保健所大塚博史所長及び国立感染症研究所感染症情報センター大山主任研究官による講演(講演1「熊本市におけるセレウス菌による食中毒事件について」、講演2「食中毒事例疫学調査の実際」)
- ・食品安全関係府省における情報収集及び提供制度について説明

第14回 9月28日(水)

- ・科学的知見が十分ではない原因により被害が生じ、又は生ずるおそれがある事案のケーススタディについて、国立感染症研究所感染症情報センター中島主任研究官による講演(「平成16年秋に東北北陸3県の広域にわたり発生した原因不明のアウトブレイク調査対応」)
- ・社会的反響等を勘案し、緊急の対応が必要と考えられる事案のケーススタディについて、東京大学医学部附属病院今村助教授による講演(「過去の食品事件に見られる情報提供側の意図と報道との格差(特に風評被害について)」)及び小泉専門委員による講演(「風評被害を巡る裁判例の紹介」)

(4) 添加物専門調査会

第25回 9月30日(金)

- ・「次亜塩素酸水」について検討
- ・「高濃度にジアシルグリセロールを含む食品の安全性について」を審議する体制を検討

(5) 農薬専門調査会

第36回 9月21日(水)

- ・「シアゾファミド」及び「ピフェントリン」について検討

(6) 動物用医薬品専門調査会

第34回 9月26日(月)

- ・「マラカイトグリーン及びロイコマラカイトグリーン」について検討。これらに関して、国民からの意見・情報の募集を行うことをについて食品安全委員会に報告することを決定

第35回 9月26日(月) 非公開

- ・「ツラスロマイシン」について検討

(7) 微生物専門調査会

第7回 9月6日(火)

- ・小麦粉を主たる原材料とする冷凍パン生地様食品について検討

第8回 9月6日(火) 第5回ウイルス専門調査会と合同で開催
・食中毒原因微生物のリスク評価指針の策定について検討

(8) ウイルス専門調査会 第8回微生物専門調査会と合同で開催
第5回 9月6日(火)
・食中毒原因微生物のリスク評価指針の策定について検討

(9) プリオン専門調査会
第30回 9月12日(月)
・米国及びカナダから輸入される牛肉及び牛の内臓について検討

第31回 9月26日(月)
・米国及びカナダから輸入される牛肉及び牛の内臓について検討

(10) 遺伝子組換え食品等専門調査会
第31回 9月12日(月) 非公開
・「ラウンドアップ・レディー・アルファルファ」101系統及びラウンドアップ・レディー・アルファルファ」163系統、「ワタ281系統とワタ3006系統を掛け合わせた品種」及び「L-アルギニン」について検討。これらに関して、食品安全委員会に報告することを決定

(11) 新開発食品専門調査会
第27回 9月28日(水)
・高濃度にジアシルグリセロール(DAG)を含む食品の安全性に関する審議の進め方について検討

第28回 9月28日(水) 非公開
・特定保健用食品「ガイオタガトース」について検討

(12) 肥料・飼料等専門調査会
第13回 9月16日(金)
・普通肥料「けい酸加里肥料及び熔成けい酸加里肥料」について検討。これに関して、国民からの意見・情報の募集を行うことについて食品安全委員会に報告することを決定

3. 意見交換会等の開催

9月9日(金) 食品に関するリスクコミュニケーション(輸入食品の安全確保及び残留農薬等のポジティブリスト制度の導入についての意見交換会) <千葉県千葉市>
・食品安全委員会、厚生労働省・関東信越厚生局、農林水産省・関東農政局、千葉

県及び千葉市の主催により、「食品に関するリスクコミュニケーション（輸入食品の安全確保及び残留農薬等のポジティブリスト制度の導入についての意見交換会）」を千葉県千葉市にて開催し、厚生労働省より、「輸入食品の安全確保について」及び「残留農薬等のポジティブリスト制度の導入について」のテーマで、説明を行った。また、消費者代表、行政関係者等をパネリストとするパネルディスカッションを行い、会場参加者との意見交換を実施。

9月27日（火） 食品に関するリスクコミュニケーション～農薬のリスクアナリシスに関する意見交換会～）＜神奈川県横浜市＞

- ・食品安全委員会、厚生労働省、農林水産省関東農政局、神奈川県、横浜市、川崎市及び（独）農林水産消費技術センター横浜センターの主催により、「農薬のリスクアナリシスに関する意見交換会」を神奈川県横浜市にて開催し、農林水産省より、「農薬のリスクアナリシスについて」及び「農薬の登録制度と適正使用について」のテーマで、それぞれ講演を行った。また、消費者代表、食品関連事業者等をパネリストとするパネルディスカッションを行い、会場参加者との意見交換を実施。

9月30日（金） 食品に関するリスクコミュニケーション～魚食と健康に関する意見交換会～）＜石川県金沢市＞

- ・食品安全委員会、厚生労働省及び農林水産省北陸農政局の主催により、「魚食と健康に関する意見交換会」を石川県金沢市にて開催し、椙山女学園大学客員教授の安本教傳氏より、「栄養面からみた健康への利益とリスク」のテーマで、農林水産省より、「魚食と健康」のテーマで、それぞれ講演を行った。また、消費者代表、食品関連事業者等をパネリストとするパネルディスカッションを行い、会場参加者との意見交換を実施。

4. その他

9月16日（金） 平成17年度全国食品安全連絡会議

- ・127自治体（47都道府県、57保健所設置市及び23特別区）を対象とした平成17年度全国食品安全連絡会議を開催。汚染物質専門調査会佐藤座長より「魚介類に含まれるメチル水銀のリスク評価結果について」について講演、「情報提供・意見交換のあり方について考える～メチル水銀に関するリスクコミュニケーションを例として～」についてのパネルディスカッションの実施、食品安全委員会の取組や地方自治体の取組についての報告を行った後、意見交換を実施。

季刊誌「食品安全 - 共に考えよう、食の科学 - vol. 6」を発刊

「魚介類等に含まれるメチル水銀に係る食品健康影響評価」のポイントについてホームページに掲載